

第57期

山一電機株式会社 中間報告書

2011.4.1~2011.9.30

Contents

ごあいさつ	1
セグメント情報／連結	2
トピックス	3
連結財務諸表（要約）	5
会社の概要・株式の状況	6



株主のみなさまへ



経営理念

山一電機グループは、新しい価値の創造に革新的に取り組む、エレクトロニクス産業において、すぐれた品質のトータルパッケージサービスを提供することを通じて、お客様の価値創出に貢献します。

1 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

2 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

3 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

4 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

5 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。



代表取締役社長
織田 俊司

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、平成24年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましてご報告いたします。

当社グループが関連するエレクトロニクス業界においては、東日本大震災の影響からの需要回復が想定より低調な状況となっており、加えて円高の長期化や世界的な景気減速を受け、総じて厳しい状況となりました。

このような経営環境の中で当社グループは、新製品の開発と顧客サポート体制の強化による受注・売上の獲得に加えて、徹底した合理化や経費削減に取り組んでいましたが、PVソリューション事業の赤字がかさみ、十分な成果には至りませんでした。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高11,800百万円（前年同期比23.6%減）、営業損失111百万円（前年同期は営業利益1,406百万円）、経常損失478百万円（前年同期は経常利益870百万円）、四半期純損失694百万円（前年同期は四半期純利益797百万円）となりました。

通期の業績見通しにつきましては、下期も電子部品業界の需要回復は円高の高止まりや世界的な景気減速は続くものと予想され、加えてタイの洪水被害につきましても、東日本大震災と同様に、部品調達不足や生産調整などの影響が危惧され、引き続き厳しい状況が予想されます。

以上のことから通期の売上高につきましては24,000百万円（前年同期比12.7%減）を予想しております。また、利益面につきましても、固定費の削減や変動費の低減などの諸施策は実行しておりますが、売上高の減少にともない当初予想から減益となり、営業利益10百万円（前年同期比99%減）、経常損失500百万円（前年同期は経常利益366百万円）、当期純損失800百万円（前年同期は当期純利益157百万円）を予想しております。

なお、中間配当の実施につきましては、誠に遺憾ではありますが見送らせて頂くこといたしました。

株主の皆様におかれましては、このような厳しい経営状況でございますが、早期の黒字転換並びに復配に向けて鋭意努力してまいりますので、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

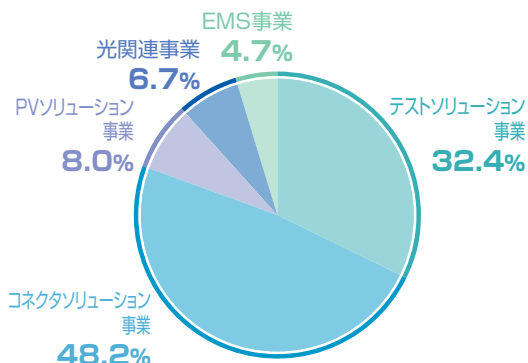
■ セグメント情報

報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品別の事業推進部を置き、各事業推進部は取り扱う製品について国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、光関連事業およびEMS事業については、中核グループ企業が中心となって取り扱う製品について国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

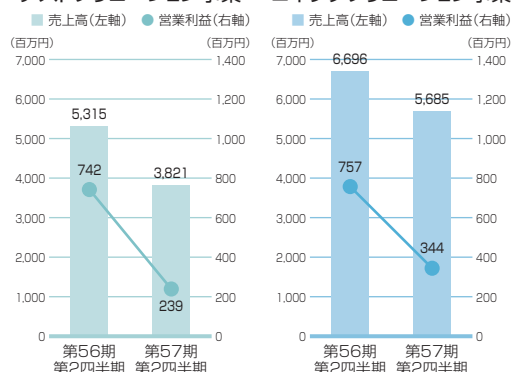
したがって、当社グループは、事業推進部およびグループ企業を基礎とした製品別のセグメントを下記の5つの報告セグメントとしております。なお、EMS事業は、液晶組立事業と基板実装事業の2つの事業セグメントを集約しております。



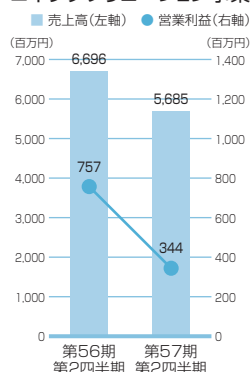
各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品・サービス
テストソリューション事業	バーンインソケット、テストソケット、プローブカード、半導体テスト関連サービス
コネクタソリューション事業	カードコネクタ、実装用ICソケット、高速伝送用コネクタ、その他各種コネクタ、YFLEX（高速伝送用ケーブル、実装基板）
PVソリューション事業	太陽電池モジュール用ジャンクションボックス、ケーブル&コネクタ
光関連事業	RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート／ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源
EMS事業	液晶組立サービス、基板実装サービス

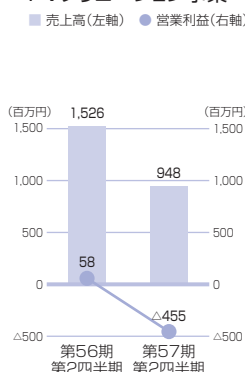
テストソリューション事業



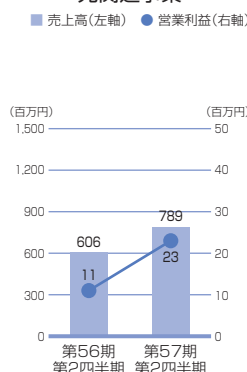
コネクタソリューション事業



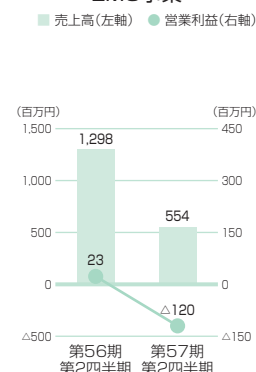
PVソリューション事業



光関連事業



EMS事業



テストソリューション事業

高発熱デバイスに対応するバーンインソケットを開発

クラウドサーバー・ネットワーク機器・画像処理などを支える高機能デバイスは大容量化・高速化・微細化により高発熱化が進んでおります。このたび、従来品より大幅に部品点数を低減し、高性能・低価格を実現する高発熱対応のバーンインソケットを開発いたしました。接触子には半導体テスト分野で培ったノウハウと超精密加工プレス技術を生かし高精度を実現した2部品プレススプリングブローブピンを採用いたしました。今後も拡大していく最先端プロセスのパッケージテストのご要望にお応えいたします。

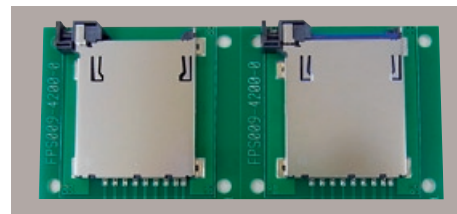


《IC567シリーズ》

コネクタソリューション事業

カーナビメーカー様のご要望に応えたSDカードコネクタ新製品をリリース

SDカードコネクタのラインアップにカーナビメーカー様のご要望を満たす特殊仕様製品をリリースいたしました。現在、多くのカーナビメーカー様においてご採用検討をいただいております。本製品の大きな特徴は、カードとの接点を全極2点接点化し、コネクタからカードの飛出しが無い新たなカードロック機構を採用することで車載機器に要求される耐振動・衝撃性に対応したSDカードコネクタになります。



SDカード未装着状態

SDカード装着状態

PVソリューション事業

急拡大するPV市場での需要に備えドイツ、中国工場に続いて、アジアでの生産拠点強化のためフィリピン工場においても生産を開始する準備を始めました。
コネクタでは屋外でも簡単にハーネス作業が可能なフィールドアッセンブリータイプを開発。欧州規格認証を取得し販売を開始しております。また、Junction Boxでは2品種の新製品を2011年度第4四半期に販売開始いたします。



欧州認証 (TUV・VDE) および米州認証 (UL) を取得



YSOL4



YSOL3



Thin Film JBox



New Silicon JBox

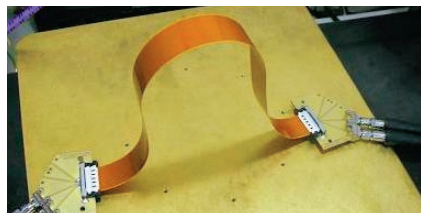
Field assembly
CONNECTOR
PVP/S0402 Series



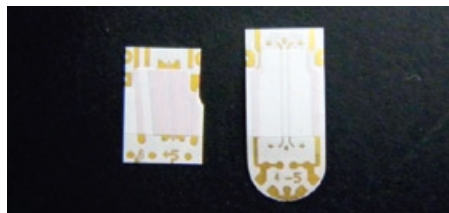
R&Dセンター

超高速伝送用ケーブルの開発

民生機器や産業機器において電気信号の高速伝送化が進んできており、今までの技術では、エラーなく信号を送ることが難しくなってきました。このたび当社が開発した超高速伝送用ケーブルは、独自の4層構造を採用して従来の2層構造と比較し伝送特性の大幅な改善を実現いたしました。これにより、今後の高速伝送機器の要求に応えるソリューションを提供してまいります。



高速伝送ケーブル基板の特性測定



高速伝送モジュール用フレキシ基板

連結財務諸表（要約）

■第2四半期連結貸借対照表

【資産の部】

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
流動資産	14,098	15,070
現金及び預金	6,073	6,741
受取手形及び売掛金	4,215	4,340
たな卸資産	3,019	3,077
その他	790	910
固定資産	13,250	13,259
有形固定資産	10,809	10,761
無形固定資産	128	163
投資その他の資産	2,312	2,334
資産合計	27,349	28,330

【負債、純資産の部】

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
流動負債	10,155	10,335
支払手形及び買掛金	1,666	1,887
短期借入金	6,660	6,673
その他	1,828	1,774
固定負債	1,520	1,258
長期借入金	917	625
その他	602	633
負債合計	11,675	11,594
株主資本	17,097	17,791
資本金	10,047	10,047
資本剰余金	5,004	9,580
利益剰余金	2,049	△ 1,832
自己株式	△ 3	△ 3
その他の包括利益累計額	△ 1,443	△ 1,075
少数株主持分	19	19
純資産合計	15,673	16,736
負債純資産合計	27,349	28,330

■第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月 1 日 至 平成23年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日)
売上高	11,800	15,444
売上原価	8,982	10,915
売上総利益	2,818	4,529
販売費及び一般管理費	2,930	3,123
営業利益	△ 111	1,406
営業外収益	149	77
営業外費用	516	612
経常利益	△ 478	870
特別利益	2	327
特別損失	109	66
税金等調整前四半期純利益	△ 585	1,130
法人税、住民税及び事業税	37	195
法人税等調整額	71	137
少数株主損益調整前四半期純利益	△ 694	797
少数株主利益	△ 0	0
四半期純利益	△ 694	797

■第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月 1 日 至 平成23年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	492	1,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,225	△ 908
財務活動によるキャッシュ・フロー	214	1,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 147	△ 146
現金及び現金同等物の期首残高	6,736	4,066
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	6
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,070	5,933

会社の概要

商 号 山一電機株式会社
 所 在 地 東京都大田区中馬込三丁目28番7号
 設 立 昭和31年11月
 資 本 金 100億4,706万円
 従 業 員 数 458名 (連結 3,791名)
 主な事業内容
 1. テストソリューション事業
 2. コネクタソリューション事業
 3. PVソリューション事業
 4. 光関連事業
 5. EMS事業

株式の状況

- ① 発行可能株式総数 60,000,000株
 ② 発行済株式総数 23,289,775株
 ③ 株主数 7,239名
 ④ 単元株式数 100株
 ⑤ 大株主

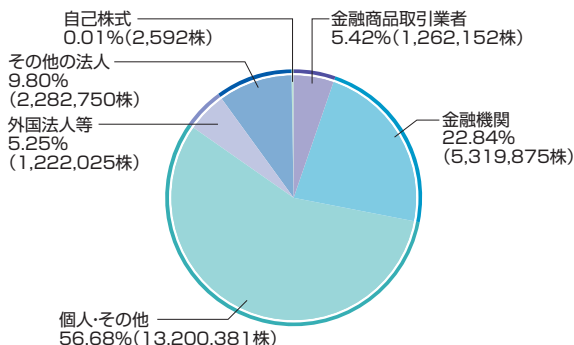
株 主 名	持株数	持株比率
	株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,274,600	9.77
S M K 株 式 会 社	839,200	3.60
山 一 電 機 従 業 員 持 株 会	688,988	2.96
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	619,300	2.66
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	526,275	2.26
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	522,500	2.24
日 本 証 券 金 融 株 式 会 社	470,300	2.02
山 一 電 機 取 引 先 持 株 会	469,500	2.02
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	265,600	1.14
坂 本 和 雄	250,400	1.08

(注) 持株比率は自己株式 (2,592株) を控除して計算しております。

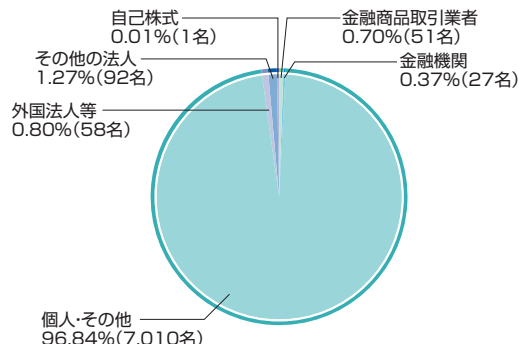
役員

代表取締役社長 織 田 俊 司 常 勤 監 査 役 太 田 佳 孝
 取 締 役 加 藤 勝 市 社 外 監 査 役 吉 澤 壽 美 雄
 取 締 役 村 田 和 則 社 外 監 査 役 多 田 郁 夫
 取 締 役 阿 部 俊 司
 取 締 役 鶴 家 紀 之
 取 締 役 渡 部 武 光

所有者別株式数分布状況



所有者別株主数分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所（市場第一部：証券コード6941）
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社は今期、環境保全、省エネ活動へ積極的に取り組み、特に東日本大震災以降は全社的に節電対策を実施しました。

本社テラス緑化



佐倉事業所太陽光発電パネル



IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、株主の皆様への情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で
ご覧いただける
投資家情報

- ・IRカレンダー
- ・決算短信
- ・株主のみなさまへ
- ・有価証券報告書
- ・お問合せ

<http://www.yamaichi.co.jp/aboutus/ir/ir.shtml>

 **山一電機株式会社**

〒143-8515 東京都大田区中馬込三丁目28番7号
☎03-3778-6111（代表） ☎03-3778-6171
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>

